

# 平成24年度和歌山県教育委員会功労賞受賞者

## ●個人の部

### 《学校教育部門》

ぶよう たきひこ  
武用 瀧彦

和歌山市立日進中学校 学校医

【主な功績】 昭和57年4月から和歌山市立日進中学校内科校医として、深い理解と情熱をもって職務に精励し、定期健康診断や学校保健会を通じて生徒の健康管理に努めた。また、学校医部会員として講演会等へ積極的に参加し、学校医として日々研鑽するなど、学校保健向上に尽力している功績は顕著である。

てらうち ちさと  
寺内 千里

和歌山市立紀伊小学校 学校薬剤師

【主な功績】 昭和61年4月から26年間にわたり学校薬剤師として、児童の健康的で快適な学習環境づくりに尽力し、学校環境衛生向上のため諸検査の実施指導・助言等を行い、児童の学習能力の向上、伝染病その他の疾病予防などの健康の保持増進に貢献している功績は顕著である。

わきむら すみよ  
脇村 純代

海南市立大東小学校 他1校 学校薬剤師

【主な功績】 学校薬剤師として就任以来、永きにわたり献身的に児童生徒の健康保持や衛生管理のため、積極的に指導助言を行い、海南市における学校保健等に関わる教育の推進に尽力した。また、学校長をはじめ、養護教諭及び保健主事等に対し適切な指導を行うなど、誠心誠意、精力的に学校保健向上に貢献している功績は顕著である。

まえだ やすお  
前田 泰生

橋本市立高野口中学校 学校医

【主な功績】 29年余りの永きにわたり、学校医として生徒の健康診断データを分析し、結核検診の在り方や生徒の肥満防止対策、体格の変容に伴う運動の推進など、きめ細やかな取り組みを通じて生徒の健康管理に尽力した。また、地域密着の医療を推進し、保護者や教職員からの信頼も厚く、学校保健の充実に貢献している功績は顕著である。

おおち まさあき  
應地 正章

有田市立田鶴小学校 他5校 学校医

【主な功績】 22年余りの永きにわたり、学校眼科医として児童生徒の視力低下の予防や、色覚、屈折異常、アレルギー症状などについて検診や指導助言などを熱心に行い、児童生徒の健康管理に尽力した。また、学校関係者に対しても、視力に関する知識や、様々な症状に対する予防策等を指導するなど、学校保健充実に貢献している功績は顕著である。

ふくつじ てつや  
福 辻 徹 也

新宮市立蓬莱小学校 学校歯科医

【主な功績】 20年余りの永きにわたり、学校歯科医として卓越した学識と高い教育的見識をもって、学校保健・健康教育の推進に尽力し、特に、子どもたちが、「健やかに、伸びやかに、たくましく」成長するために、歯科検診等を通して、児童や教職員に対し、それぞれに応じた保健管理と保健指導に努めている功績は顕著である。

とよだ えいいち  
豊 田 榮 一

岩出市立根来小学校 学校医

【主な功績】 永きにわたり学校医として、児童生徒の健康管理に努めるとともに学校保健委員会等にも参加し、健康教育の充実にも努めた。学校心臓検診に際し、心電図検討委員として適切な助言を行い、また、学校腎臓検診の充実を図る為、学校検尿マニュアルの作成に関わるなど、学校保健教育の充実に貢献している功績は顕著である。

うえだ かずお  
上 田 和 夫

かつらぎ町立笠田小学校 学校医

【主な功績】 昭和46年4月より41年の永きにわたり、学校医として、学校保健及び健康教育の推進に力を注ぎ、積極的に健康診断や指導助言を行うなど児童の健康維持、学校保健向上に尽力した。また、教職員に対しても健康教育の重要性やその指導方法等について助言を行うなど、学校保健教育に貢献している功績は顕著である。

ねごろ としお  
根 来 寿 夫

湯浅町立湯浅小学校 学校医

【主な功績】 40年余りの永きにわたり、湯浅小学校の学校医として職務に精励し、児童の健康管理のため、毎年の定期健康診断はもとより、子どもたちが健やかに学校生活を送れるよう積極的に教職員と協力し、健康相談や保健指導を行うなど、学校保健・健康教育に貢献している功績は顕著である。

つじむら たけふみ  
辻 村 武 文

みなべ町立南部中学校 学校医

【主な功績】 27年余の永きにわたり、健康診断や健康指導に熱心に取り組み、生徒の健康増進に大いに寄与した。平成4年～平成13年まで実施された児童・生徒の生活習慣病予防検診や平成17年度から開始された学校における喫煙防止対策事業にも積極的に参画するなど、学校保健教育の充実・活性化に貢献している功績は顕著である。

よしだ てつお  
吉 田 哲 夫

上富田町立上富田中学校 学校医

【主な功績】 永きにわたり、学校医として上富田中学校生徒の健康管理面での相談やインフルエンザ等感染症による学校の相談に的確な指示や指導を行い、また、授業や部活動における生徒の傷病等の治療においては、時間外であっても早急に対応するなど、生徒の疾病予防と健康増進に貢献している功績は顕著である。

まるささ ゆういちろう  
丸 笹 雄 一 郎 前 白浜町立日置中学校 他1校 学校医

【主な功績】 永きにわたり、児童生徒の定期健康診断や予防接種業務に従事するとともに、高い医学的知識のもと養護教諭や保護者からの相談にも適切な助言を行い、常に地元在住の学校医として健康指導及び健康管理に尽力した。また、授業中や部活動中の傷病においても、休日・時間外を問わず対応するなど、学校保健の充実に貢献した功績は顕著である。

かまた としひこ  
鎌 田 俊 彦 串本町立潮岬小学校 他4校 学校医

【主な功績】 学校医に就任以来、健康診断や健康相談等を通じて、幼児及び児童生徒の健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、平成14年4月から西牟婁郡医師会理事、西牟婁郡医師会副会長、平成22年4月から平成24年5月まで西牟婁郡医師会会長を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に貢献している功績は顕著である。

ほとみ さだむ  
保 富 定 県立田辺工業高等学校 学校医

【主な功績】 昭和45年4月より県立田辺工業高等学校の学校医を42年間の永きにわたり務め、生徒の健康診断、健康管理等に尽力している。また、現在も現役学校医として、生徒の健康増進・疾病予防等の推進に努めるとともに、教職員に対しても健康教育の重要性について指導・助言を行うなど、学校保健教育の充実に貢献している功績は顕著である。

きひら しょうご  
紀 平 省 悟 県立たちばな支援学校 学校医

【主な功績】 永きにわたり学校医として児童生徒の健康診断や保護者への健康相談などに係る適切な指導助言を行っている。こうした長年の実績や誠実で温かみのある人柄から保護者の信頼は絶大であり、また、卒業生の多くが卒業後も継続して医療面でのフォローを受けているなど、特別支援教育の充実に大きく貢献しており、その功績は顕著である。

## 《 社 会 教 育 部 門 》

えんどう ちあき  
遠 藤 千 晶 ボーイスカウト和歌山連盟理事

【主な功績】 昭和59年より和歌山第19団のリーダーとして30年近く団の活動に携わるとともに指導者を育成指導する県連盟トレーナーとしても20年余り奉仕し、青少年の健全育成に尽力している。また、平成24年4月より和歌山地区の地区委員長になるとともに、県連盟の理事に選ばれ、ボーイスカウト和歌山地区協議会における中心的な人物として、和歌山県下のボーイスカウト運動を通じて社会教育の振興に貢献している功績は顕著である。

みうら りえこ  
三 浦 利枝子

県なぎなた連盟理事長・全日本なぎなた連盟理事

【主な功績】 和歌山信愛女子短期大学附属中学校・高等学校在任中になぎなた部を創部し、指導者として数多くの全国大会出場者、世界大会出場者を育成するなど、なぎなたの競技力向上に大きく貢献した。また、昭和49年2月から現在まで和歌山県なぎなた連盟理事長を務め、競技人口の少ない本県を、全国的な競技水準に引き上げるなど、本県なぎなた競技の普及と競技力向上に貢献している功績は顕著である。

## 《 教育 行政 等 部 門 》

もり しげき  
森 茂 樹

前 美浜町教育委員会委員

【主な功績】 平成7年3月に委員に就任以来、松洋中学校体育館や松原小学校並びに和田小学校の校舎耐震補強工事など、教育施設の整備に積極的に取り組んだ。また、三尾小学校と和田小学校の統合に関しては、教育委員として確固たる信念をもち、常に児童生徒の健全な育成を第一に考え計画を進めるなど、町教育行政の発展に貢献した功績は顕著である。

いわはし こうだい  
岩 橋 幸 大

上富田町教育委員会委員長

【主な功績】 平成9年7月に委員に就任し、当時、問題行動が多かった町内の中学校の状況に対し、教職経験を活かした指導・助言を行うなど現状克服に努め、平成14年頃より、教育方針の明確化と厳格な規律厳守及び学校開放によって生徒の状況が著しく好転した。常に子どもの健全な成長を考え、教育委員会事務局との協働を重視しながら取り組みを進めるなど、町教育行政の充実・発展に貢献している功績は顕著である。

## ●団体の部

### 《社会教育部門》

けほんおどりほぞんかい  
戯瓢踊保存会

会長 原 多美男  
所在地 和歌山県御坊市

#### 【主な功績】

「戯瓢踊（けほんおどり）」は、毎年10月4日・5日に、御坊市御坊町の日高別院、及び同市菌の小竹八幡神社の祭礼である「御坊祭」において奉納される芸能で、昭和30年に和歌山県指定無形民俗文化財第1号として指定を受け、昭和49年には国記録選択無形民俗文化財となっている。

江戸時代後期の『紀伊国名所図会』には、紀州初代藩主の徳川頼宣公がこの踊りを見物し、踊りを絶賛したことが記されている。現在も、この時に藩主より拝領した「四恩状」を読み上げた後、華やかな衣装をまとった踊り手が、ひょうたんを打ち鳴らしつつ、念仏の功德を高らかに歌い踊ることを特徴としている。

戯瓢踊保存会は、昭和41年に現在の保存会が発足し、毎年の御坊祭において奉納するほか、県内外の民俗芸能公演にも積極的に参加するなど、地域に伝わる優れた踊りの技術向上、伝承に長年にわたって尽力しており、本県の伝統文化の継承・発展に貢献している功績は顕著ある。

## 平成24年度教育功労者知事感謝状受賞者

### 《 学 校 教 育 部 門 》

いわもと けんぞう  
岩本 謙三

和歌山市立大新小学校 他2校 学校薬剤師

【主な功績】 昭和45年より42年余りの永きにわたり、学校薬剤師として、児童生徒の健康的で快適な学習環境づくりのため、積極的に環境衛生検査に取り組み、学校環境衛生の向上に努めている。また、教職員に対しても、環境衛生の重要性などについて指導・助言を行うなど、学校保健活動の充実に貢献している功績は顕著である。

いわた こうじ  
岩田 光司

岩出市立岩出中学校 学校医

【主な功績】 昭和58年4月に学校医として着任以来、内科検診、予防接種、健康指導等を通じて、生徒一人ひとりの健康状態に応じた管理に努めている。特に心臓検診については、専門性を活かした検診や指導助言を行い、また、生徒が卒業した後も経過観察に力を注ぎ、常に子どもの健康管理に努めるなど、学校保健教育の充実に貢献している功績は顕著である。

### 《 社 会 教 育 部 門 》

かまだ ふじお  
鎌田 富士夫

ボーイスカウト和歌山連盟理事

【主な功績】 昭和44年から和歌山第2団団員としてスタートして以来、隊リーダーを経て、地区役員、県連役員としてスカウト活動をはじめ、青少年の健全な育成に尽力してきた。また、会計士としての職業経験を活かし、県連財政委員長等を歴任し、財政会計面での指導・支援を積極的に行うなど、ボーイスカウト運動を通じて社会教育の振興に貢献している功績は顕著である。